

第5研究課題 第5分科会

「教職員の専門性に関する課題」

研究主題 「教職員の資質・能力の向上と教頭の関わり」

ー I C Tの効果的な活用等による学びの保障についてー

四国中央市立川滝小学校 宇田 智子

1 研究の概要

四国中央市では、学校教育重点ポイントの六つの中に「確かな学力を基盤とした未来を拓く力の育成」「教職員の資質能力の向上」を示している。その中で、学校 I C T推進による G I G A しこちゅ～StuDX（本市 G I G A スクール構想）の実現を目指し、各校で教職員の I C T 活用能力の向上及び授業改善の推進に取り組んでいる。また、1人1台端末の導入に向けて、昨年度から市教育委員会主催の研修会が多数企画され、情報教育主任を中心に研修会に積極的に参加し、教職員一人一人の力量を高めてきた。昨年度、環境整備のための工事が順次行われたが、学校により1人1台端末の利用開始時期が異なった。そのため、年度当初は学校間格差があった。しかし、1学期の取組により、児童生徒への日常的な活用を工夫し、教職員も児童生徒も I C T を身近に感じ利活用することによるどの学校も慣れてきた。

市の方針を自校の実情に合わせて具現化するために、どのように教職員に働き掛けていくか、教頭の果たす役割は大きいと考える。

2 研究の内容

実践内容	教頭としての関わり
(1) 四国中央市各小中学校の取組 ア 教頭研修会での情報交換	<ul style="list-style-type: none">○ 教職員アンケート○ 校内研修体制へのマネジメント
(2) 自校の取組 ア 不登校児童への I C T を活用した支援 イ 上分小学校との交流	<ul style="list-style-type: none">○ 不登校児童の支援○ 上分小学校教頭との連携・相談○ 学級担任への指導・助言
(3) 成果と課題	

3 教頭としての今後の課題

- (1) これまでの学習形態の良さと I C T 活用の良さをうまく組み合わせるために、教頭として、教職員へどのように働き掛けていくか。
- (2) 教頭自身の I C T 活用能力をどのようにして高めていくか。